

第5回 りづら紀行 ①

The Way of Water

(水の道)

りづらの南側西寄り、ストリート広場にひっそりと佇む石彫刻。それが『The Way of Water (水の道)』だ。姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市から寄贈されたこの彫刻は、晴れの日も雨の日も、夏も冬も、病める時も健やかなる時も、絶えずそのくねくねと曲がったくぼみに清流を保ち続けている。荘厳。我々はそう感じずにはいられない。

そして彫刻を前にしてさらに思う…
「流しそうめん」

①スタートはここから。ピッチャー（そうめんを流す人のことだ）は、最頂部のゴツゴツした所にそうめんをリリース。めんがうまくほぐれ、バランスよく流すことが可能だ。

②イーター（そうめんを食べる人だ）は、彫刻の両サイドにポジション。溝を左右に振ることで、イーターがめんをキャッチしやすい親切設計。取りすぎためんは土手に置きキープ。

③後半は水の勢いが増すため、上級者向け。最後の滝からのそうめんキャッチは観る者を魅了する。

『The Way of Water (水の道)』
スウェーデン王国ウッデバラ市から姉妹都市提携40周年を記念し、寄贈された石彫刻。長年にわたる友好の証として、ウッデバラ市の特産である御影石で作られている。一つの石材を二等分した「双子の石」で、もう一つはウッデバラ市の保育園に設置し、深い交流を象徴している。珍しく真面目な解説だ。

文・イラスト/カジ

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラー

講座

『クールリブラー』とは

図書館の利用マナーの遵守はもちろん、よりクールで上質なりづら利用方法を日々模索する。それが『クールリブラー』だ。お雑煮のモチは3つまで。

④キャッチされなかっためんは放っておくと、排水のアレが詰まり、業者さんにアレしてもらうことになるため、ピッチャーが責任を持って集めること。